

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 226

2024・07・31

もらひくる 茶碗の中の 金魚かな
—内藤鳴雪—

今年は「例年になく暑い」とか。
去年も一昨年も
同じ言葉を聞いたような記憶が…。
暑すぎる屋外を敬遠してか、
海水浴場の人出も心なしか
少ないような気がします。
こんな時は猛暑から避難して
図書館で本探し。
物語の主人公と一緒に
本の中で冒険に繰り出しましょうか。

○ CONTENTS ○

	PAGE
☆ 高橋教育長面談報告	…1
☆ 図書館はどこにある？ そしてどう描かれている？	…2
☆ 講演会「陣出遺跡と富士塚遺跡の調査について」に参加して 大海絵里佳	…3
☆ 旧鎌倉図書館の公開と維持管理について回答がありました	…4
☆ 「旧鎌倉図書館保存ととも基金」終了のお知らせ	
☆ 松坡先生をめぐる人々 19 釈大眉(雲関和尚) 袴田潤一	…5
☆ 図書館友の会全国連絡会(図友連)活動報告	…6
☆ 湘南邸園文化祭連絡協議会第2回連絡会報告	
☆ おめでとう！長野ヒデ子さん	…8
☆ 本の海サポーターズ交流会報告	
☆ ぽっけおはなし会報告／芸術館でポスタープレゼン／銀幕情報	…9
☆ 三浦邦雄さん追悼	…10
☆ F☆L実行委員会報告	
☆ ポラ協報告／活動日誌	…11
☆ 事務局から	…12



図書館協議会は、図書館法に定められる図書館長の
諮問機関であり意見具申機関です

(7月12日 於：鎌倉市教育委員会)

7月12日、高橋教育長にお目にかかり、持参した要望書、

「新庁舎及び現庁舎跡地に設置される地域館及び中央図書館の基本設計にあたり、鎌倉市図書館協議会に諮問を実施することについて(要望)」(添付資料1)

を手渡し、30分ほどじっくりとお話を聴いていただきました。要望の内容は、当会の会報221号(2023年9月発行)から225号(2024年5月発行)の計5回にわたってその必要性を訴えてきたものです。

当会だけでなく、図書館協議会委員や市議会議員からも、同様の質問や意見がでていますが、図書館協議会で「協議」してもらうので「諮問」はしない、との図書館の姿勢に変化はありません。ほかの自治体例をいくつか調べましたが、新しく図書館が計画されるときに、条例で設置される図書館協議会に「諮問」しなかった例を見つけることはできませんでした。鎌倉市図書館のHPには、次のように記されています。

「図書館協議会は、図書館法の定めにより設置され、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずる

とともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。」

これまでも、鎌倉市図書館開館百周年記念事業や地域館職員の非正規化など、重要な案件については図書館長から協議会に「諮問」があり、各分野から選任された5名の委員に審議をして頂いた後、「答申」を受け取って今後の方向性を見定めてきた図書館の歴史があります。新しいまちづくり、新しい図書館づくりを前にして、法や条例に則った協議会を実施しないという選択肢はないと考えます。

(阿曾)



図書館はどこにある？ そしてどう描かれている？

いま新庁舎のイメージ図が展示されています

深沢地区への市庁舎移転計画は未だ議会での承認を得ていませんが、基本構想並びに基本計画が策定され、次の段階である基本設計の段階に進み、そのための予算も成立しています。今年度に入り設計者の募集が開始され4社が応募し、4つの企画提案書が提出されました。募集はプロポーザル方式で行われ、設計図ではなく、設計する際の基本コンセプト、自社の実績、設計のアイデアなどを審査する、言いかえると設計図ではなく設計者を決める方式です。市が求めた10項目ほどの仕様書を1枚にまとめたものが提案概要書で、それがいま市役所、各支所、生涯学習センターに展示され、市のホームページにも掲載されています。

これを見ると1階部分のイメージ図が描かれているだけで何階建てかもわからないものや、建物の外観が主で各施設がどのように配置されているかが不明であったり、各階の配置図が描かれても1ページに詰め込まれていて見えにくいというのが最初の印象です。

肝心の図書館がどうなっているかですが、まず何処にあるか探し出すのが大変でした。やっと見つけてもワンフロアの一部分に書架の絵だけがあり「図書」とルビがふられている(図書館ではない?)だけであったり、円で囲んでこの辺りに「公園のように開放的な図書館」があると図示しているだけのものや、書架、閲覧席、カウンターだけが描かれて図書館は単に本を借りたり読んだりするところというイメージ図になっていたりします。ひとつだけ書架やカウンターだけでなく視聴覚・レファレンスなどのコーナー、事務室・閉架書庫などのバックヤードが図示されているものもありますが、これも含めすべての案で図書館にどれだけの面積が確保されているのかわかりません。

市庁舎全体としても建物の外観さえ不明でカフェだけが大きく描かれていたり、市庁舎の内外が人で賑わっている様子や入口から入ると広々とした空間になっていることなどが強調された絵になっていて、市役所機能がどれだけ市民にとって向上したものになるかは見えてきません。

学習センターでイメージ図を眺めていたら、横で「すごい新庁舎！でもどれだけお金がかかるんだろ、もっと他に税金の使い道があるんじゃないか」とつぶやく人がいました。市庁舎移転が承認されていないのに基本設計に着手していいのかという疑問に対して市は基本設計を示すことで市民の理解を深め正式承認につなげたいとしているようですが、イメージとキャッチフレーズだけでは逆効果になる部分もあるんだなと感じました。

今後のスケジュールは、7月22日から8月21日まで提案概要書についての市民意見を募集し、7月30日に第一次審査を行い(応募数が少なかったので4社とも通過か)、9月1日に第二次審査を公開で行う、そして選定の結果は10月に公表するとなっています。

TOTOMOとしては昨年に提出した提言書の内容をより具体的に深めた増補版を出すべく、いま検討しているところです。

(和田)

昨年7月、本庁舎移転が予定されている深沢地域整備事業区内で陣出遺跡の発掘調査（420㎡）が行われました。当会は、歴史文化都市・鎌倉に遺る遺跡は私たち市民の豊かな宝物であり未来の鎌倉市民からの預かりものでもあると捉え、開発がされる前にどのような叡智や配慮が求められるのかを学びたく講演会を企画しました。

講演会「陣出遺跡と富士塚遺跡の調査について」に参加して

（6月9日（日） 於：鎌倉市中央図書館 多目的室）

鎌倉泣塔クラブ 代表 大海絵里佳

この度ご縁をいただき、各地で発掘調査を手掛ける境雅仁先生の講演会に参加いたしました。鎌倉市民でも「陣出」「富士塚」と聞いて、ピンと来る方は少ないかもしれません。所謂「国鉄工場跡・鎌倉市役所移転候補地」と括弧書きがあれば、「あちらの方か」と、イメージが湧くのではないのでしょうか。「富士塚」は小学校があるため知られた地名ですが、「陣出」に至っては近隣の方々にもなじみのない字名かもしれません。市役所移転で注目されている土地ではありますが、その土地の歴史に興味を持たれる方はさらに少ないでしょう。戦争によって海軍工廠ができるまでは田園風景が広がり、「神明温泉」「陣出温泉」があり富士山も大きく見える風光明媚な場所だったようです。鎌倉泣塔クラブの活動拠点でもある「泣塔遺跡」もそこにあります。



講師・境雅仁氏

陣出遺跡の発掘を指揮したイビソク社の調査から、8000年前の縄文土器の破片をはじめ弥生～平安まで遺物が出土、その中でももっとも印象的だったのは祭祀でも使われたという須恵器の美しいフォルムでした。また火を起こした形跡のある竪穴住居の遺構には胸を打つ感動がありました。現物は見られませんが、役人の帯に使用されたとみられる黒い石片が見つかったそうで、土地の記憶と共に人々の生活の営みを感じることが出来ました。

境先生のお話から、単に遺物や遺構など物質的な発見の結果だけでなく、発掘調査にとって大切な技術力や、町造成の背景や土地の改変など幅広い知識と歴史そのものの造詣の深さからくる想像力の重要性についても知ることが出来ました。発掘調査担当者の力量によっては、その土地の歴史を読み解ききれないケースもあり得るとのことだと理解し、今後、鎌倉市内ではより正確な発掘調査を期待したいです。

発掘現場の片隅には、他の都道府県で絶滅危惧種に指定されるカワラハハコが3株見つかかり、市の担当部署に保護するように伝えたそうです。かつて河原や田畑だったことが判る植生の在り方、先人が残



した地名にも注目し、現代の無秩序な住宅地造成の在り方に問いを与えてくださる一面も感じられました。

変わりゆくこの深沢に古代～平安期の人々の営みの跡が見つかり、深沢が単なる辺境の地、不毛の地ではなかったことを知ることができました。鎌倉と呼ばれる旧鎌倉エリアだけでなく、深沢を含めた面として「鎌倉」を捉え直す良いきっかけになったと感じました。素晴らしい気づきをくださいました境先生、図書館ともだちの皆さまへ感謝申し上げます。

旧鎌倉図書館の公開と維持管理について回答がありました

前号の会報でお知らせしたように、旧鎌倉図書館が登録有形文化財に登録されたことを機に一般公開と維持管理計画の作成を求める要望書を4月25日に市に提出しました。それに対する回答書が6月7日に届いたので報告します。(添付資料2)

まず、説明板の設置については「設置に向けて検討いたします」という回答です。市長面談では「次の6月議会で予算化し今年度中に設置する予定」というお話だったので、どうなっているか担当の青少年課に問い合わせたところ、補正予算の一つとして6月議会に諮られ承認されたということでした。今年度中に実現することになり、うれしく思います。

二つ目の施設公開については「運営に支障のない範囲で」見学できるよう検討するという回答でした。これまでの全面的にダメという対応から一歩前進したと感じられます。TOTOMOでは今年10月27日に湘南邸園文化祭の企画の一つとして旧鎌倉図書館についての講演会と見学を開催する予定で、これについても建物の外観や前庭の旌徳碑を間近に見られるよう準備していきたいということだったので、これが全面公開への第一歩になればと期待しています。

三つ目の「施設の維持管理」については「適切に行って」いく、「維持管理計画作成」については「引き続き検討して」いくという回答でした。維持管理が適切に行われるためには計画の策定は不可欠のことと思いますので、ぜひ実現してほしいと考えます。

四つ目の「部材の保存・活用」については、書架の部材については「一部活用」しており、保存しているものの活用については「今後の検討課題」としています。階段、床板の古材については、すでに再利用しているもの以外は当初から保管する予定はなかったという回答で、驚きとともにとても残念に思いました。

最後の項目の市の「景観重要建築物等の指定に向けた手続き」については「進めてまいります」という前向きな回答をいただきました。「歴史的風致形成建造物の指定」についても「今後の施設の運用管理の状況等を踏まえ、検討を進めたい」としているのです、その意味でも維持管理計画の作成は必須と思います。

回答書を読むだけではよく分からないところもあるので、話し合いができる機会があればと青少年課にお願いしたところ、8月7日の例会に来てくださることになりました。一歩前進した回答をいただけたことと併せて市の対応に感謝する次第です。(和田)

「旧鎌倉図書館保存とともに基金」終了のお知らせ

旧鎌倉図書館は、昨年修復事業が終わり、放課後子どもひろばおなり・おなり子どもの家「こぼと」としてオープンしました。修復事業にあたり、少しでも市民が協力できることがあればと、平成27年7月より基金を募っておりましたが、修復が終わったことで基金を閉じることとしました。この間、皆さまからお預かりした金額は、1,375,000円に上り、平成28年6月には市へ1,000,000円の寄付をしました。残金375,000円の使い道については、今後検討し改めて報告いたします。

旧鎌倉図書館の保存活動に多大なるご支援ご協力いただき、ありがとうございました。

今後、旧鎌倉図書館をはじめ市内の重要建造物保全へのご寄付は、「鎌倉市景観重要建造物等保全基金」へお願いいたします。<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keikan/kikin.html> (杉崎)

前回（第18回）は釈宗演と松坡先生の交友について書きましたので、今回は同じ臨済僧の釈大眉（雲関和尚 1882～1964）の事蹟や松坡先生との交友について紹介します。

釈大眉、奈園敬俊^{いそのけいしゅん}は熱海医王寺奈園定達（号は邁堂）の第三子として生まれ、小学校卒業と同時に釈宗演の養子となり円覚寺で修行しました。修行中から釈宗演に常侍しましたが、大正6（1917）年6月からは師命により新潟県南魚沼の関興寺に第56世として住し、宗演没後、大正12（1923）年7月から昭和19（1944）年まで、沼津の沢田山大中寺住職を務めました（第25世）。大中寺は夢窓疎石を開山として鎌倉時代末期に創建された古刹で、禅寺としては珍しく、密教系の不動明王を本尊とすることでも知られます。梅の名所でもあり、沼津に御用邸があったことからしばしば皇室の行啓を仰ぎ、明治42（1909）年には休息のための御殿（便殿）として境内に恩香殿が建てられました。大眉の嗣住である高橋友道編著の『大中寺と沼津御用邸先師雲関窟大眉老漢拾参回忌之辰記念』（大中寺1976）には昭憲皇太后より下賜された七條法衣をまとう釈大眉の写真が掲載されています。

大眉は宗演に常侍していたことから、宗演の年譜をまとめています（『楞伽窟^{りょうがくつ}年次』）。200ページ以上にわたる宗演の伝記ともいえるべきもので、宗演の生涯の一日一日を辿ることができます。大眉のもう一つの大きな仕事は長尾大學とともに『宗演禪師書翰集』を編んだことです。膨大な量の宗演の書簡を知ることができます。また、大眉自身多くの漢詩を残しており、それは高橋友道がまとめた浩瀚な『釈大眉禪師雲関広録』で読むことができます。松坡先生との交友も漢詩を通じて始まったことが推察されます。

2023年9月に沼津の大中寺にお参りし、ご住職の下山光悦師に大眉と松坡先生の交友などに

ついてお話を伺いました。光悦師のご厚意で、三幅の詩軸と芳名帖を拝見することができました。詩軸はいずれも松坡先生の漢詩が松坡先生自身の手で書かれたものです。芳名帖の冒頭にはやはり松坡先生の筆で詩が書かれていました。



七條法衣をまとう釈大眉
（昭和12年頃）

ひとつの詩軸を紹介します。私が注目したのは為書きでした。「甲子春日宿大中寺賦呈雲関老漢鳴謝 松坡居士（甲子春日、大中寺に宿し、雲関老漢に賦し呈す。鳴謝 松坡居士）」とありました。別の軸には「甲子四月四日 松坡居士」の款記もあり「甲子春日」が4月4日であることも判りました。松坡先生は大正13（1924）年4月3日か4日、大中寺に雲関和尚を訪い、そのお礼にと詩を詠み、それを書に認めたのです。

「鳴謝」とは厚い謝意を表す語です。書かれた五言律詩の尾聯（第7、8句）には「留吾何好意 浄味称幽情（吾を留むるは、何ぞ好意たらん。浄味、幽情を称う。）」とあります。松坡先生が大中寺に泊まったのは雲関和尚が松坡を留めたからです。その好意を松坡先生は「浄味」「幽情」と詠じました。

恩香殿やご本尊、更に大眉が生活した雲関窟と呼ばれる部屋も見せていただき、大中寺を辞去するに及び、「またゆっくり、梅の季節にでもお出掛け下さい。お泊りいただいても構いませんよ。」との光悦師のお言葉。恐悦至極という言葉の意味を実感しました。

..... 図書館友の会全国連絡会（図友連）活動報告
2024 年度（第 18 回）総会、交流会、要請行動から院内集会まで

■ 2024 年度（第 18 回）総会、交流会、懇親会

2024 年 5 月 27 日午前、日本図書館協会を会場に、第 18 回会員総会が対面と Zoom 視聴のハイブリッド形式で行われました。5 月 1 日現在の会員数は、団体会員 63、個人会員 126。2023 年度の活動報告、会計報告、2024 年度の活動方針、予算、新運営委員選出等の議案がすべて承認されて終了しました。当会からは阿曾が参加し、昨年度に引き続き代表をつとめることになりました。

午後は双方向のハイブリッド形式による会員交流会が開かれ、各地域の活動報告や意見交換が行われました。場所を移しての懇親会では交流を深める賑やかな時間を過ごしました。

■ 省庁・国会議員要請行動

翌 5 月 28 日～29 日、国立国会図書館、総務省（松本総務大臣）、文部科学省（安江文部科学大臣政務官）に要望書を手交し、併せて事務方との面談をそれぞれ約 1 時間行いました。

同時に 5 月 28～30 日、6 月 6 日～7 日、要望項目の実現に向け、約 130 名の国会議員を議員会館へ訪ね、全国各地から集まった会員 16 名による要請を行いました。

長年継続している取組ですが、要望の実現に立ちほだかる壁の高さはあるものの、積み重ねてきた手ごたえを感じることでできた延 4 日間の要請行動となりました。

要望書および現在までに届いている回答書を添付します。（添付資料 3）

詳細は図友連のホームページに順次公開されますのでご覧ください。



総務省・松本総務大臣に要望書を提出



文部科学省・安江文部科学大臣政務官に要望書を提出

■ 図友連による職員調査報告

図友連では、昨年度、公共図書館で働く職員の状況調査を実施しました。これは、前年の要請行動の際に、文字・活字文化議員連盟会長の上川議員より提案され、その必要性に共感して全国の会員が手分けして取り組んだものです。文部科学省や（公社）日本図書館協会が実施する悉皆調査ではありませんが、市民による、市民のための公立図書館対象の職員調査はおそらく歴史上初めての試みであり、58 自治体 97 図書館と数は少ないものの、直営、委託、指定管理者など、運営形態を超えたデータが集まりました。図書館の非正規職員数、その時給とそれぞれの地域の最低賃金との差、勤務時間、業務分担など、その項目は多岐にわたります。

先に述べた会員総会や要請行動においても概要資料の「図友連職員調査報告」を添えて説明に努めました。この調査は今後も継続し、さらに精度を高めていく予定です。

■「これでいいのか図書館 担い手にまっとうな待遇を求める院内集会」開催

6月6日、衆議院第二議員会館において、図友連を含む7団体2個人の実行委員会によって標記集会が開かれ、それぞれの活動報告がありました。図友連からは、図友連・公共図書館職員調査プロジェクト班の佐久間さん（静岡図書館友の会）が調査報告を行い、阿曾が団体報告を行いました。また、文部科学省総合教育政策局地域学習推進課図書館・学校図書館振興室長による現状報告や、超党派の国会議員の挨拶も行われ、最後に「公共図書館・学校図書館に働く非正規雇用の待遇改善を求めるアピール」を採択して終了しました。

主催団体等、その他詳細は、日本図書館協会ホームページ（※）に掲載されていますのでご覧ください。

※ 日本図書館協会→委員会→非正規雇用職員に関する委員会→これでいいのか図書館 担い手にまっとうな待遇を求める院内集会（2024年6月6日開催）→「図友連職員調査（2024年）報告」

なお、6月28日、人事院と総務省からそれぞれ

◎「期間業務職員の適切な採用について」の一部改正について

(https://www.jinji.go.jp/seisaku/kisoku/kaisei/kaisei_tsuuchi/fy2024/gaiyou_r6jinki840.html)

◎「会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアル（第2版）」の改正について

(https://www.soumu.go.jp/main_content/000955781.pdf)

の通知が発出されました。このたびの図友連の要請行動においては、文部科学省宛て要望項目5と総務省宛て要望項目1に関連する改正と考えます。小さな一歩ではありますが、次の一歩にむかう大きな力になります。

図書館の三要素は「人」「資料」「施設」と言われますが、中でも最も大切な要素は「人」とであると当会は捉え、鎌倉市図書館においてもその充実を願ってきました。今後も、正規司書の継続的採用のみならず、非正規雇用職員の在り方の改善や、公立図書館や学校図書館における専門職制度の確立を目指して、全国の仲間たちは勿論、図書館や本の文化に関わる各界の皆さんとの連携を深めながら粘り強く声をあげていきたいと思えます。

（阿曾）

○当会世話人の阿曾千代子さん執筆の記事『法にふさわしい公立図書館の姿とは？』が、「みんなの図書館」7月号に掲載されています。ぜひお読みください。雑誌「みんなの図書館」は、鎌倉市の図書館に所蔵されています。

湘南邸園文化祭連絡協議会第二回連絡会参加報告

（7月11日（木）オンラインにて開催）

ガイドブック完成版作成について、広報・印刷までのスケジュール・配布方法などの修正・確認作業など中心に行われました。

- ・キックオフイベントは9月8日（日）第1部：式典 於・板橋公民館（小田原市）
第2部：まちあるき 三淵邸・柑柑荘（初代最高裁判所長官の別荘）松永記念館、小田原用水など数ヶ所を巡る2部構成
- 尚、イベント情報を掲載したガイドブックは、8月中旬以降に鎌倉市図書館他に置かせていただく予定です。同文化祭HPにも掲載されます。

（阿部）

おめでとう！長野ヒデ子さん

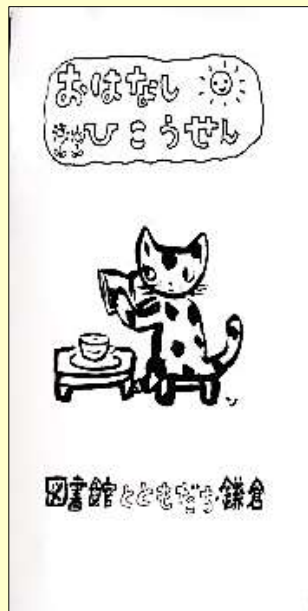
絵本作家の長野ヒデ子さんが、第63回児童文化功労賞（日本児童文芸家協会主催）を受賞されました。

おめでとうございます！

長野さんはTOTOMO会員でもあり、当会活動に多方面からご尽力くださっています。「おはなしひこうせん」のリーフレットのロゴデザインやカットは長野さんによるもの。また、鎌倉市図書館の「かまくら読書活動支援センター」パンフレット、「本の海サポーターズ」のシンボルカット、図書館車「ブックン」の車体のイラストも長野さんの絵です。

今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

尚、今年の児童文化功労賞受賞者は、長野さんと黒柳徹子さんでした。



TOTOMO
「おはなしひこうせん」
リーフレット



鎌倉市図書館
「かまくら読書活動支援センター」
PRパンフレット



第14回本の海サポーターズ交流会

「おすすめの絵本を片手に 語ろう&聞こう」参加報告

（6月28日（金）於：深沢学習センターホール）

今回は、読み聞かせにおすすめの絵本の情報交換会と読み聞かせ活動等の事例発表が参加者約35名で行われました。

読み聞かせのボランティアをしていると、おはなし会のたびに悩むのは「どの絵本を読もうか？」ということです。年齢や季節、行事などを中心にたくさんの絵本の中から選ぶのですが、自分一人では、選ぶ本に偏りが出たり、新しい本にたどり着かなかったりします。おはなしひこうせんでも、毎月の勉強会で情報交換を行っていますが、様々な場所で活動している人たちのお話を聞くチャンスはなかなかないものです。今回、5グループ（各グループ6～7名と図書館司書1名）に分かれてのおすすめ絵本の紹介では、他の人が選んだ絵本に思わず身を乗り出して見ていました。

また、小坂小学校読み聞かせボランティア、深沢小学校おはなしサークルトム・ソーヤ、また、学童保育や老人施設など様々な場所で活動しているおはなし玉手箱の事例発表は、興味深いものでした。トム・ソーヤでは、卒業の際に今まで読んできた絵本のリストをプレゼントしているそうです。ふだんあまり本を読まない子も少なくともこの本のリストに載っている120冊ほどは、読んできたことになります。すぐには役に立たなくても、きっとどこかで心の拠り所になっているのではと思いました。

おはなしひこうせんからは、大山と杉崎が参加しました。

（杉崎）



西鎌倉ぼっけおはなし会報告

(7月11日(木) 10:10~11:30 於:茶風)

朝から時折雨が落ちてくる生憎のお天気でしたが、生後3か月から2才6か月のお子さんとお母さん9組18人がおはなし会に参加してくれました。もうすぐ夏休み、今回は手づくり人形と一緒にみんなで童謡「うみ」を歌って始めました。その後も夏ならではの絵本、わらべうた、紙芝居、子どもたちの大好きな大型絵本『もこもこ』を読みました。わらべうた「ちゃぷちゃぷこなみ」の際には、ハンカチ大のオーガンジーの布をみんなに配り、それを波に見立てて遊びました。

0才児の参加が多いおはなし会でしたが、どの子も目をキラキラさせてよく聞いてくれました。会場が茶風さんの時には、おはなし会が終わるとお庭に出て遊べるのですが、雨が降っていて、急遽絵本を三冊おまけで読みました。子どもたちもお母さんたちも、私たちも楽しいひとときとなりました。

おはなしひこうせんから、石井・石原・大山・福田・杉崎が参加しました。

(杉崎)

♪プログラム

童謡「うみ」／絵本『ひまわり』／絵本『はなび ドーン』
 絵本『かめかめたいそう』／わらべうた「ぼつつんぽつぽつ」
 わらべうた「ちゃぷちゃぷこなみ」／紙芝居『ゴロゴロロン』
 ペープサート「ごろりん すいか」／大型絵本『もこもこ』
 わらべうた「さよならあんころもち」

♪おまけ

絵本『でんしゃ くるかな?』
 絵本『やさいのおなか』
 絵本『今日』

芸術館でポスタープレゼン!

(7月17日 於:鎌倉芸術館小ホールロビー)

本誌に「映画と本と図書館と」をご執筆くださっている「かまくら銀幕上映会」ナビゲーターの田邊恵美さんにお声掛けいただき、芸術館小ホールロビーでTOTOMOの活動を紹介するポスタープレゼンテーションを行いました。当会報で上映案内を掲載しているご縁で今回の機会をいただいたわけですが、情報誌「Shonan Post」さんも一緒でした。



会場に専用コーナーをいただけたので、活動紹介ポスターをパネル展示。会報最新号と当会のリーフレットも置き、ご希望の方に配布しました。また、連載エッセイ「映画と本と図書館と」第1話から最新話までをまとめた小冊子を作製し、会場で自由にご覧いただけるようにしました。この日は映画「ナポレオン」上映と戸田奈津子さんのトークショーが行われる日とあって映画好きの方がいつも増して多い模様。この冊子に興味を持ってくださる方が何人もいらして、購入できますかと聞いてくださったことは嬉しいことでした(当日は非売品)。

休憩時間や終映後に立ち寄ってくださった方々、興味を持ってポスターをご覧になり活動に関心を持ってくださった方々、そして機会を提供していただきました「かまくら銀幕上映会」様、ありがとうございました。(齊木)

かまくら銀幕上映会のお知らせ(主催:ドリーム・アーツ(03-5969-8081) 於:鎌倉芸術館小ホール

8/15(木)『いまダンスをするのは誰だ?』トークショー 古新舜監督・主演小島のぞみ

8/29(木)『アメリ』トークショー 吉原豊(配給会社アルバトロス代表)

◎「いまダンスをするのは誰だ?」「アメリ」上映・トークショー:入場料1300円(シニア1000円) 上映開始13:00、トークショー15:15~

9/17(火)『サン・セバスチャンへ、ようこそ』 9/30(月)『枯れ葉』

10/10(木)『コットンテール』 10/24(木)『レッド・シューズ』 11/7(木)『PERFECT DAYS』

◎映画上映1000円 ◎上映時間 ①11:00~ ②14:00~ ☆上映スケジュールの確認は鎌倉芸術館(0467-48-5500)へ

TOTOMO 会員の三浦邦雄さんが6月6日にお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表します。

三浦邦雄さんの訃報を知り、とても寂しく残念な気持ちです。三浦さんには、TOTOMO の世話人として、また読書会を立ち上げそのリーダーとして、ご尽力いただきました。図書館の友の会には読書会が必要と、2004年に中心となって立ち上げ、その後も長らく代表を務めてくださいました。隔月で開催している読書会は、現在までに110回を数え、読んだ本は220冊を越えました。いつも、テーマ本の背景や著者について丁寧に下調べをしてくださり、作品の理解が深まりました。今年になってお休みが続いていましたが、5月の読書会の後にお電話した際には、お元気なお声で、家で井上靖全集を順番に読んでいますとおっしゃっていました。7月の読書会のテーマ本は、三浦さんがその時に読んでいらした全集の16巻から『夏草冬濤』を推薦していただきました。先日の読書会では、その『夏草冬濤』を読んで三浦さんを偲びました。

最後まで本を愛された三浦さんの安らかなお眠りを心よりお祈り申し上げます。 (杉崎)

ファンタスティック☆ライブラリー113 実行委員会第2回報告

(於：中央図書館 多目的室)

6月20日(木)14:00~15:30 中央図書館多目的室にて実行委員会が4団体5名と図書館のF☆L担当職員5名、計10名の参加で行われました。各団体のテーマと講演会の日程、必要なパネルや展示用ガラスケースの数を確認しました。

❖各参加団体の内容について(予定)

◎かまくら女性史の会 ・「鎌倉の保育4」パネル展示、講演会

※図書館を含め参加団体と共同の発表ができないかとの提案がありました

◎別荘地時代研究会 ・「大船軒」関連資料の展示

◎松坡文庫研究会 ・ パネル展示、ギャラリートーク

◎TOTOMO ・ 旧図書館が登録有形文化財になったことの紹介パネル

・おはなしひこうせん：パネル展示、絵本展示、おはなし会、点字体験、折り紙
サンタを探せ、ハンドベル演奏(検討中)

・間島夫妻旌徳の会：貴重書の展示、パネル展示、ギャラリートーク

◎図書館 ・ 鎌倉女子大(手話部、梨本ゼミ、かるた部)と連携してのお話会など

11月30日(土)は午前中に鎌倉女子大手話部のプレおはなし会を行う予定。

・まるまーる(外国人の子育てサポートを中心に活動するNPO)外国語のおはなし会

❖今後については8月31日(日)までに講演会、展示物の有無、時間帯を決定し、図書館に書面で通知する。前日準備は11月30日の午後のみ(プレおはなし会の為)

❖広報として◎広報かまくら 令和6年11月号 ◎鎌倉萌 令和6年11・12月号に掲載し周知に努める。
さらに図書館祭りのチラシは昨年度のデザインで内容を更新する。

次回 令和6年9月26日(木)14:00~。TOTOMOからは阿部、杉崎、水岡が参加しました。(水岡)



暑中お見舞い申し上げます。冷房を適切に使った図書館や家で、水分を十分にとりながら、ゆっくり読書して、猛暑の夏を乗り切りましょう。

おはなしひこうせん勉強会

日 時：9月19日（木）10時～12時 場 所：福祉センター
 テーマ：「クリスマス」今年度のファンタスティック☆ライブラリーでのテーマです。
 各人のテーマに合わせた絵本や紙芝居の紹介とワークショップについて考えます。

ひこうせん夏の遠足

日 時：8月22日（木）10時に神奈川近代文学館に集合
 「没後10年 古田足日のぼうけん」展を見学、その後オレンジ&レモン文庫訪問
 お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

読書会

日 時：9月27日（金）11時～12時半 場 所：NPOセンター鎌倉
 テーマ本：多和田葉子著『献灯使』（講談社文庫）、古内一絵著『百年の子』（小学館）
 ※水分補給のためのお飲み物は各自ご持参ください。皆様のご参加お待ちしております。
 お問い合わせは、杉崎（TEL/FAX 0467-41-4956）まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時：8月7日（水）13時半～16時半 場 所：NPOセンター鎌倉
 お問い合わせは、鈴木（TEL 090-4728-5242）まで。

講演会：陣出と深沢周辺の歴史を探る（仮）

日 時：10月20日（日）14時～16時 会 場：鎌倉市中央図書館3階多目的室
 講 師：古田土俊一氏（泉谷山浄光明寺 執事／鶴見大学・神奈川大学 非常勤講師）
 参加費：無料 定員：30名（先着順） ※申し込み方法等、詳細は次号でお知らせします。
 お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX 0467-45-5731）まで。

19th 湘南邸園文化祭2024

9月8日～12月8日に湘南邸園文化祭が開催され、とともは以下のプログラムで参加。

祝・国登録有形文化財登録 旧鎌倉図書館見学会&講演会

日 時：10月27日（日）13時～16時 会 場：鎌倉市中央図書館3階多目的室
 講 師：菅孝能氏（建築家） 参加費：無料 定員：25名 ※詳細は次号でお知らせします。
 お問い合わせは、鈴木（TEL 090-4728-5242）まで。

☆図書館友の会全国連絡会

総会と要請行動が終わりました。今年度も全国の仲間たちと一緒に頑張ります！
 お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX：0467-45-5731）まで。

編集後記 * * * * *

☆私事ですが、初孫が生まれ、それを口実に赤ちゃん絵本を読み漁っています。読んだ絵本は本の海サポーターズ交流会や西鎌ぼっけでのおはなし会で役に立ちました。(A.S)
 ☆鎌倉市の図書館でもWi-Fiが使えるようになりました！「やっと」の感もありますが、これで調べものをする際の効率も上がりそうです。現在は未だ中央館のみ。全館で使えるようになる良いですね。(M.S)



題字・巻末カット：小島寅雄 2024年7月31日発行
 図書館とともだち・鎌倉（代表：水岡やす子） 編集：阿曾・黒瀬・斉木・杉崎
 事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34（黒瀬）TEL/FAX 0467-22-8545
 HP：<https://totomo.sakura.ne.jp> E-mail: toshokantomodachi@gmail.com

